

北部地域医療連携モデル事業 役割整理表

実証事業におけるA事業・B事業の主な役割分担を整理したものです。

両事業は相互に連携し、A事業の検討結果を踏まえ、B事業において実証に必要な環境整備及び運用支援を行います。



項目	A事業 (医療MaaS及び遠隔医療の導入に係る調査事業)	B事業 (医療MaaS及び遠隔医療の実証に係る実装・運用支援事業)
地域の現状調査・ニーズ把握	主担当	必要に応じて情報提供・助言
実証フィールドの整理	主担当	実装・運用面から情報提供・助言
実証内容・実施方法等の企画	主担当	実装可能性・費用等の観点から情報提供・助言
車両の手配・整備	—	主担当
医療MaaSシステムの手配・整備	—	主担当
通信環境の整備	実証フィールド等の整理	主担当
医療機器等の手配・運用準備	実証内容・検証項目等の整理	主担当
実証現場における運用支援	実証及び検証に必要な支援	主担当（機器等の設置・運用、操作説明、実証当日の運営支援等）
実証結果の検証	主担当（専門的・医学的見地から検証）	実装・運用に係るデータ等を整理・提供
実証結果等の取りまとめ	地域医療連携モデルの実現に向けた課題・方向性を整理	実装・運用上の課題、改善方策及び今後の展開を整理

※「主担当」は、各仕様書に基づく主な役割を示したものであり、実際の業務は、財団、A事業受託者及びB事業受託者が相互に連携・協議しながら実施します。